慶應義塾大英語を受講する皆さんへ

大学別の対策集の冒頭に，こういう宣言をするのは，どうかなとも思いますが，あくまで傾向や対策は，傾向と対策にすぎません。すなわち，傾向と対策を知れば受かるのではなく，最短の道がわかる，少しでも点数を高く取るためのものです。

やはり，慶應義塾大の合格に必要なのは，解き方や読み方といったテクニカルなことではなく，しっかりした英語力，どんな問題にもぶれない英語力なんです。そこはどうしても，誤魔化したくなかったので，授業では，徹底してそこを追求させてもらいます。合格するのに必要なのは，必殺ルールのような小見出しではなくて，**徹底した語彙力**と**音読により培った英文処理のスピード**，そして**一見何のつながりも見えない英文のつながりを見抜く論理力**なんです。

また，従来の対策集では，体系化されていない大問１問載せているだけでしたが，あえて**捨て問は外して**，正解しなければいけない問題・正解すべき問題に厳選して，**体系化して効率性を重視**しました。慶應義塾大の入試問題は，満点を取る必要はありません。どこの学部だろうと，７割取れば受かるのであって，合格するには，それを３科目満たせばよいのです。

授業を受動的に聞くだけでは，自分で問題を解ける力はつきません。授業を聞くことで，自分には見えないつながりが見えてきたとき，今までにはない英語の世界に触れたとき，一種の感動を覚えるでしょう。けれども，**真に感動すべきは，授業を聞いての感動ではなく，自分でできたときの感動**なんです。必ず予習して，授業を受け終わったあとの**復習を何より重視**してください。新出の単語・文法事項を覚える・文章を 10 回音読するといった地道な作業を 10 回続けてみてください。**復習テストをすべて突破して**，10 講分やり終えたあとには，必ずや慶應義塾大の合格に近づいている自分が実感できるはずです。

肘井　学

テキストの特徴

授業を聞くだけでは，自分で実際の問題を解ける本物の力はつかないので，皆さんの復習を前提とした構成となっています。

それを手助けするために，読解の解答のあとに**重要語彙リスト**をつけています。ここから**直接復習テストに出ます**ので，すべて必ず覚えてください。**単語力はすべての英語力の源**です。

さらに，授業後の復習に音読するための白文を読解の解答の最後につけていますので，必ず授業後に，①全文構文把握⇒②単語暗記⇒③本文 10 回音読の復習を欠かさずやってください。

次に，英文法の分野はただ板書しただけだと，何を覚えてよいかわからないので，**Input Sheet を解答の各講の最後に掲載**して，**何をどのように覚えたらよいかを明らかに**しました。右を隠して，答えを出せるように何度も繰り返してください。

目次

第 0 講	予習復習方法	p.3 ～ p.7
第 1 講	連立完成問題演習	p.8 ～ p.17
第 2 講	長文総合問題①	p.18 ～ p.27
第 3 講	正誤問題徹底演習	p.28 ～ p.37
第 4 講	長文総合問題②	p.38 ～ p.49
第 5 講	選択問題演習	p.50 ～ p.57
第 6 講	長文総合問題③	p.58 ～ p.67
第 7 講	会話問題演習	p.68 ～ p.77
第 8 講	長文総合問題④	p.78 ～ p.87
第 9 講	SFC 超長文演習①	p.88 ～ p.97
第 10 講	SFC 超長文演習②	p.98 ～ p.108

第０講　予習復習方法

一　予習について

＊授業で扱う文は，解法や読み方を学ぶためだけのものではなくて，そこに出てきた単語・熟語・構文すべてを学び取るもの。その文章で出てきた単語・熟語・構文は，必ず次の文にも出てくるものです!!

① 問題を解く（**長文は１問30分**と時間を決めて解く）
② 全文構文を把握しながら，意味をとっていく
③ わからない単語の意味を辞書で調べて，テキストに書き込む。授業は単語の意味合わせではないので，このことだけはしっかり予習段階でやってくるようにお願いします。
④ 前置詞の作るかたまりを特定する
⑤ 接続詞のつないでいるものを特定する（and, but, or）
⑥ 代名詞・指示語が何を指すか特定する（it, they, them, this）
⑦ 関係詞節の範囲を特定する
⑧ 不定詞の三用法を特定する
⑨ 分詞の名詞修飾を特定する

④〜⑨は，授業内で毎回指摘するので，予習時にやっておいて，授業で自分の精度の確認をしてください。

二　講義について

① 板書を急いで取ること。ぼくが黒板に書き始めた途端に，急いでノートを取ってください。役に立たない内容は，板書しないので，これ見ているだけでよいよといった板書以外は，しっかりノートに取ってください。書いて覚えるというメリットもあります。全訳はしないこと，解答にすべてあります。わからない部分だけの書き込みにすること。**板書の書き出しに，ぼくと板書が重なって見えないときは，書き終えたら必ず見えるアングルに移動しますので，あわてずに，見えるようになってから板書をスタートしてください**。板書が書ききれない場合は，動画を一度止める・巻き戻すなどして，書き取ってください。これも映像授業のメリットです。

② 授業中眠くなるときがあるのは，ぼくもいたいほどわかります。ただし，こらえること。講義動画は，30 分前後で一本にあえて区切ってあります。

三　復習について

＜文法編＞

授業では徹底して頭を使って，理解することに重点を置きました。復習では，**頭を使いながら，やはり繰り返すこと**が重要です。解答の最後の，Input Sheet に，何を覚えるかを明らかにしてありますので，板書とそちらを見ながら，何度も繰り返して，知識を定着させてください。

＜読解編＞

毎年毎年，奇跡的な合格を果たしている生徒たちに伝授している秘伝です。何千人も生徒を教えてきて，これ以上に，成績を上げる方法は，いまだ思いつきません。といっても，急に奇跡が起こるようなそんなおいしい話なんてなくて，ぼくが練りに練り上げたその方法は，毎日毎日，ひたすら地道な作業を繰り返していくだけです。**一つの文章に対する密度を上げる**，それが遠回りに見えて，最も合格に近い道であることは，今までのぼくの生徒たちが証明してくれています。

復習その一　本文全体の構文把握

授業中に入れたスラッシュや括弧を利用して，全訳と照らし合わせて，SV はどれか，どこからどこまでが一つの意味のかたまりで，どこがどこに修飾しているかを確認して，意味を取っていく。

復習その二　知らない単語を，すべて覚える

解答の各講の最後にある重要語彙リストを利用して，

① **日本語とセットで**，英語 / 日本語の順に，3 回**書いて覚える**

② **日本語とセットで**，英語 / 日本語の順に，10 回**唱えて覚える**

⇒ 2，3 回繰り返しただけで，覚えられない，暗記が苦手と嘆かないこと！　暗記に必要なのは，繰り返すこと，英語のできる子たちは，人より多く繰り返しているだけです !!

復習その三　文章を 10 回（長い文章は 5 回）音読する

音読の具体的な方法論と効果を説明します。

① 解答の各講の後ろにある音読用英文で，一回読むごとに右上の数字に一つ斜線を入れていく。
② 次に，自分なりの発音でよいから，一文目を発声する（自習室では，自分だけに聞こえる程度の声で）。
（参考）He could not explain the reason for his instinctive avoidance of them.
（ヒークゥドノットイクスプレインザリーズン・フォーヒズインスティンクティヴアヴォイダンスオヴゼム）
③ 次に，構文を追いながら，意味を頭で考える。
（参考）彼は，彼が本能で彼らを避ける理由を説明できなかった。
④ この手順で，最後まで読む。数字の①に斜線を入れて，10 回繰り返す。

効果としては，まず**単語を生きた状態で学べる**。単語一つを覚えるのも重要ですが，それだけだと死んだ単語。文章中で出てきても，意味が思い出せない，何だか意味が取れないと思ったことありますよね。

次に，**正確な構文力がつく**。構文の処理を 10 回も繰り返せば嫌でも得意になります。

最後に，実はこの方法論こそが，皆さんが求める速読への最大の近道なんです !!　一回目に読んだときの大変さ，遅さ，それは単語の記憶があいまいなせいで，構文を取るのが遅くて不正確なせいで，読むのが遅いんです !!

10 回目に読んだときのスピードと比較してみてください。10 回目はなんと早く読めることでしょうか。単語の意味が正確に出てきて, 構文をすばやく取れる, それが速読の真の正体なんです !!　英語を英語のまま理解できるという状態に達するのは，音読で徹底して繰り返したときに起きる現象なんです。

単語個の力と，文章の中で覚えた生きた単語力，その相乗効果こそが，最高に英語が得意になる秘訣なんです !!

あとは，これを一日一文，一週間で 5 文やってみてください。早い人で 3 カ月で見違えるような効果が生まれてきます。ぼくの英語の授業を完成させるかどうかは，皆さんの復習次第です。

四　復習テストについて

この授業の趣旨を理解していただいた皆さんは，いかに復習が大切で，復習こそが英語力を高める最大の近道であるかに気づいていただいたはずです。**授業を終えたあとこそ一番大事**，椅子に座って話を聞いて満足するだけじゃなく，そのあとに自ら能動的に動くこと＝復習することが一番大切なんです。ところが，人間一人ではなかなか，気持ちを持ち続けることが難しいために，その復習をぼくたちが徹底してサポートして，二人三脚でこの最も大事な復習を続けていきます。

そのために，次の授業の前に，**前回のチェックテスト**を実施してください。文法編は，授業で扱った内容をほかの大学での入試問題で確認していきます。読解編は，授業で指摘したポイントの確認，解答の最後にある重要語彙リストからの出題で，しっかり音読と語彙の定着がなされているかをチェックしていきます。いずれも，前回やった内容からの出題なので，満点で先に進んでください。

すべては，第一志望校に受かるため，英語力をつけるための最短の道と理解して，必死で臨んでください。

第１講　　連立完成問題演習

次の二つ，または三つの英文の空欄に，共通する一語を埋めなさい。

１.

(ア) I cannot make (　　　　　) or tail of what he is saying.

(イ) Instead of going to the beach, we will (　　　　　) for the mountains.

２.

(ア) As an adult, you must (　　　　) up to your responsibilities.

(イ) He remained calm in the (　　　　　) of such danger.

(ウ) When the politician was arrested, his (　　　) was all over the newspapers.

３.

(ア) If you are unsure of the cause of your (　　　　　) pain, you should seek medical attention.

(イ) Developing and industrialized nations could not decide on who should (　　　　　) responsibility for cutting greenhouse gas emissions.

(ウ) (　　　　　　　　) your bag and have your hands free before you start climbing.

４.

(ア) He turned his (　　　　) on a promising career in medicine to study art.

(イ) Debate went (　　　　　) and forth over the issue of the consumption tax.

今日のポイント

NOTE

5．

(ア) New companies are having difficulty raising (　　　　　　　).

(イ) In many places, the (　　　　　) city is not the largest one of that country.

(ウ) When chatting, don’t write everything in (　　　　　) letters.

6．

(ア) Her essays (　　　　) nothing to be desired. She is definitely one of the most successful writers in this century.

(イ) Don’t (　　　　　　) the water running. It is important not to waste water.

(ウ) He took (　　　　) for four months after working very hard for six months.

7．

(ア) Payment is (　　　) within 30 days.

(イ) (　　) to the rain, the match was cancelled.

(ウ) The train is (　　　) to arrive at 10:30.

8．

(ア) The President is due to (　　　　　　　) a meeting of foreign ministers at the conference room shortly.

(イ) At the beginning of the 21st century, we must (　　　　　) ourselves to the problem of global warming.

(ウ) In order to get your test results, print your name and (　　　　) on a large-size envelope and send it to us.

NOTE

9.

(ア) We need time to (　　　　　) on our successes and failures in the past.

(イ) Rough surfaces scatter light while smooth surfaces (　　　　) it.

10.

(ア) I called her, but the (　　) was busy.

(イ) What (　　) of work are you in?

(ウ) He decided to take a strong (　　) over that matter.

11.

(ア) The chemistry class (　　　　　)d the teacher doing the experiment.

(イ) "He is a fine young man," (　　　　　)d Stephen.

(ウ) When you go to a foreign country, it is smart to (　　　　　) their customs.

12.

(ア) His irresponsible behavior necessarily forced us to (　　　　) doubt on his way of thinking.

(イ) The musical The Lion King will be performed in Tokyo by the original Broadway (　　　　).

13.

(ア) There is a very (　　　　) line between what is right and what is wrong.

(イ) They charged me a heavy (　　　　　) of 2,000 dollars for breaking the speed limit.

NOTE

14.

(ア) The air turned cool, (　　　　　) the sun had set.

(イ) At his daughter's wedding, the father was at (　　　　　) happy and sad.

15.

(ア) He was the outstanding political (　　　　　) of his time.

(イ) I could hear them talking but I couldn't (　　　　　) out what they were saying.

16.

(ア) The interview is scheduled to (　　　　　) Sunday evening.

(イ) Formerly he built castles in the (　　　　　) about having a big house.

(ウ) She put on (　　　　　)s with her learning, and so she was not popular.

17.

(ア) After the conference, the leader stated that we could now go (　　　　　) as a united party.

(イ) I asked my mother to (　　　　　) all my mail, but she didn't.

18.

(ア) The President (　　　　　)es his new responsibilities in January.

(イ) He began to (　　　　　) a rude attitude.

(ウ) We can safely (　　　　　) that the results are satisfactory.

19.

(ア) He is shy and quiet (　　　　　).

(イ) Some Europeans like Chinese (　　　　　)s.

(ウ) He played the main (　　　　　) in this movie.

20.

(ア) He didn't (　　　　　　) to her demand.

(イ) People were surprised that the land (　　　　　　)ed a good wheat crop.

(ウ) His uncle (　　　　　　)ed his property to me.

NOTE

大学別対策講座　慶應義塾大英語　復習テスト　第一回

次の英文の空欄に共通して入る英単語を答えなさい。

1.

(ア) I asked my friend to (　　　　　) her last e-mail to my new e-mail address.

(イ) We should not move (　　　　　) unless we are sure of our next step.

2.

(ア) Shaking one's (　　　　　) can be interpreted as "yes" or "no" depending on the culture.

(イ) On hot summer days, people often (　　　　　) for the seaside to cool off.

3.

(ア) You need to (　　　　　) up to reality, however difficult it may be.

(イ) We could have done with more jokes, instead of taking the matter at (　　　　　) value.

4.

(ア) "I don't know," she said and shrugged her (　　　　　) dramatically.

(イ) She is the new president and she (　　　　　) the responsibility with dignity.

5.

(ア) He took three days (　　　　　) from work.

(イ) I will (　　　　　) the matter with you.

(ウ) It is time to (　　　　　) the office.

6.

(ア) This book is at (　　　　　) interesting and instructive.

(イ) He doesn't wake easily (　　　　　) he gets to sleep.

7. 下線部に最も近い意味を表すものを１つ選びなさい。

He <u>observed</u> the custom of taking tea at four o'clock.

(a) to see and notice; to watch carefully

(b) to conform one's action or practice to a law, rite, or condition

(c) to say by way of comment; to remark

8. 下線部に最も近い意味を表すものを１つ選びなさい。

"I can't <u>make head or tail of</u> this sentence in your essay," said the professor.

① agree with　② understand　③ make a point of　④ believe

9. Many people praise his work, yet I think it (　) much to be desired.

① leaves　② makes　③ stays　④ goes

10. 下線部に最も近い意味を表すものを 1 つ選びなさい。

Mr. Johnson's new book <u>is due to</u> be published next month.

① is apt to　② is expected to　③ is hoped to　④ is respected to

11. He liked to build (　　) in the air, but never succeeded in anything.

① chapels　② castles　③ towers　④ temples

大学別対策講座　慶應義塾大英語　解答編

本講座では，解答編もただ答えを載せるものではなく，徹底して受講生の復習を意識した構成にしました。

文法編では，何を覚えるかを明らかにするInput Sheetを掲載して，一問一答形式で，反復演習できる形式にしました。授業では，頭を使う，理解する，それを定着するには，皆さんの反復作業が不可欠です。頭を使って，繰り返す，これが理想の英語の勉強法です。

読解編では，各講の最後に，重要語彙リスト，音読用の白文を掲載しました。必ず授業後に，①全文構文把握　⇒　②単語・熟語の暗記　⇒　③本文音読10回を繰り返してください。音読用白文の表題の所に，①～⑩までの数字を明記してますので，1回音読するごとに，数字に斜線を入れて，必ず一つの文を10回音読してください。音読こそが，全ての道を切り開いてくれます。

復習こそが，英語学習で最も重要なポイントです。10講分終えた後の充実感，英語の力の圧倒的向上を楽しみに，頑張って下さい。

肘井　学

※掲載内容について

本書に収録された解答・解説はスタディサプリが独自に作成したものです。

慶應義塾大英語　第１講　解答

1. head	2. face	3. shoulder	4. back	5. capital
6. leave	7. due	8. address	9. reflect	10. line
11. observe	12. cast	13. fine	14. once	15. figure
16. air	17. forward	18. assume	19. character	20. yield

Input Sheet

1	head の意味	head for で進む
	～が全く分からない	cannot make head or tail of ～
2	face の意味	face up to ～　を直視する
		in the face of ～　～にもかかわらず
3	shoulder の意味	shoulder responsibility
		責任を引き受ける
4	back の熟語× 2	turn one's back on ～　～に背を向ける
		back and forth 前後に
5	capital の意味× 3	首都，資本，大文字
6	申し分ない	leave nothing to be desired
	leave の名詞× 2	許可，休暇
7	due の意味× 3	due to ～　～が原因で，支払い期限の，到着予定の
8	address，住所以外の意味	取り組む，演説する
9	reflect の他動詞	反映する
	reflect の自動詞（reflect on）	熟慮する
10	line の意味× 3	電話線，仕事（の線），路線
	お仕事は何ですか？	What line of work are you in?

11	observe × 3	観察する
		（観察したことを）述べる
		順守する
12	cast doubt on	～に疑問を投げかける
13	fine の意味	細かい，罰金
14	at once A and B	A と B 両方
15	figure の意味× 5	数字，人物，姿，図形，figure out 理解する
16	build castles in the air	空中楼閣を作る
	put on airs	気取る
17	forward の意味	前に，転送する
18	assume の用法× 3	思い込む，責任を引き受ける，態度を取る
19	character の意味× 3	文字，性格，登場人物
20	yield の意味× 3	与える，生み出す，yield to で屈する